

環境モデル都市 円卓会議 会議録

部 会 名	自転車・公共交通円卓会議		記入者	池崎(環境モデル都市)	
開催回数	第6回				
開催日時	平成21年12月16日(水)19時～20時40分				
開催場所	水俣市役所秋葉2階ラウンジ				
出席者	所属	名前	所属	名前	
	商店会連合会	平田	自転車商組合	坂本	
	地域婦人会	柏木	チッソ	脇永	
	市健康高齢課	島田	市企画課	田中	
	市企画課	宮地	市環境モ推進課	草野	
	市環境モ推進課	池崎			
			出席者 計	9 名	
欠席者	推進委員	森山	老人会	下山	
	推進委員	森	MTBクラブ	志水	
	産交バス	山田	市土木課	田畑	
	水俣警察署	竹浦	市都市政策課	梅下	
			欠席者 計	8 名	
内 容	1. 事業報告(事務局より) ●前回の確認 ・会議録参照 ・自転車マナー教室の開催状況を警察に問い合わせたところ、市内の小中学校については、学校からの要望があれば実施している。今年は二小で実施した。老人会主催のものは、自動車と自転車のマナー教室を隔年で実施しており、今年は自動車のマナー教室を実施。 ・あとは、学校単位で実施しているところがある(湯出小など)。 ・市内の自転車事故の件数は、1月1日～11月30日までで15件発生しているようだ。 ・市民に自転車の楽しさ、よさを体感してもらうために、円卓会議で来年秋ごろに自転車まつりを企画し、その中で湯出っ子たちの自転車の演技を披露してもらうのはいかがでしょうかという話も出た。 ●市民講座の報告 10月27日にふれあいセンターで新聞紙を使ったエコバッグづくりを開催した。講師には、熊日東販売店センターの釜さんをお招きした。 釜さんは、古紙の回収を新聞バッグで行うために、四万十までつくり方を勉強しに行かれたそうだ。現在では、県内の熊日販売店すべてで、新聞バッグによる古紙の回収が行われている。 当日は一般の参加者が12名程度で、和やかな雰囲気の中、新聞エコバッグを作成し、作成したバッグの中に、ふかし芋を入れて持ち帰っていただいた。平日の昼間に行ったためか、主婦層の参加が多く、この時間帯に市民講座を行う必要性も感じた。 ●環境モデル都市フェスタの報告 11月22日に水俣市文化会館、もやい館で環境モデル都市フェスタが開催された。当日は、環境ジャーナリストの枝廣淳子氏による基調講演や、ゼロ・ウェイスト(ZW)宣言自治体首長によるパネルディスカッション、市民と市長によるZW宣言等が行われ、一般市民約230名が出席した。 また、当日はもやい館周辺でベロタクシーの運行も行われた。当日は冷え込んで小雨が降るなど、天候があまりよくなかったが、14組の方がベロタクシーに乗られた。 【質問・意見等】 メンバー)なぜあんなに参加者が少なかったのか。市民として恥ずかしい。 事務局)楽しみを見出せるようなイベント企画にしたいと考えていたが、今回はZWを中心とした内容で少しわかりにくかったかと思っている。 メンバー)来年も開催するのか。 事務局)今年のような形式では難しいと思っている。エコパークのローズフェスタ等と併せて開催し、もっと市民の方に参加・体験してもらえるような内容にしたい。				

内 容	2. 市民に対する自転車・公共交通の利用促進の方法等について ①自転車市民共同利用システムの進捗状況及び利用者カードのデザイン等について 企画課： 12月11日に㈱フルタイムシステムと契約し、システムの設置に取りかかる。遅くとも1月中には運用開始できるような形にできるかと思う。 ただし、2月初旬に市長選があるので、中旬以降に運用開始できないかとも考えている。 フルタイムシステムと相談しながらスケジュールを考えたい。 今回のシステムがカード式の登録制となっているので、年明けから会員を募集したいと考えている。今日は皆さんに、カードのデザインについてご意見をいただきたい。 水俣市は海のイメージということで、青を基調としたデザインになっている。本体(ロッカー)の方も色調を統一していければと考えている。 カードは、自転車利用で買い物をしたときに、ポイントをつけるといったことにも対応できるようにしている。 【質問・意見等】 メンバー： カードにCOMMUNITY CYCLEとあるが、横文字だと年配の人にはわかりにくいのではないかと メンバー： このシステムを利用する場合には、常にカードを持っておかなければならないのか。 企画課： カードでの貸し出しとなる。カードは登録制としている。 メンバー： カードはすぐにつくれるのか。 企画課： 窓口ですぐ使えるようにカードを準備しておく、すぐ登録できるようにする等の対応をしたい。 メンバー： 水俣市には自転車のキャラクター(ちゃりぞ〜くん)があるが、そのようなキャラクターをカードに入れることは可能か。自転車のカードだとすぐわかるように、イラストを入れたり、日本語でわかりやすい表現をお願いしたい。 メンバー： カードを忘れたときはどうするのか。 企画課： 当初は対面式による貸し出しを考えていたが、人件費等の関係で市外の方にも身分を確認できれば貸し出せるようにしたいと考えている。 メンバー： 一番の問題は、外部から来た人に貸し出すシステムをどのように構築するかだと思う。 メンバー： カードは番号で管理するのか。名前を入れたりはできないか。 メンバー： 自分の名前までは必要ないのでは。 企画課： お金が発生留守ルカも知れないので、メーカー側と相談して考えたい。 事務局： システムの周知はどのように行う予定か。 企画課： A4両面の広報プリントを作成して、自治会で説明し、市報にはさんで回覧したいと考えている。また、MTBクラブの志水さんと相談をして、サイクリストの丹羽さんを招いての講演会・サイクリング大会を企画している。その場でも、システムの説明や、会員の募集を行いたい。その他にも、様々なイベントの折に周知・宣伝したいと考えている。 メンバー： 利用者を増やすには、ただシステムの周知を行うだけではなく、ノーマイカーデーと組み合わせるなど、様々な利用方法を提案する必要があるのではないかと。 メンバー： 市街地はコンパクトにまとまっており、自転車のほうが使い勝手がいいかなと思っている。ただし、水俣の道は狭いので、自転車で走るのは慣れていないと怖い。そのようなところからも自転車専用道の必要性を感じる。 事務局： 自転車の利用形態として、自転車とバスの組み合わせや、パーク&ライドについても、今後話し合っていければ。 企画課： 来年度、都市政策課で、今後の市街地整備につなげていくために、歩道の広さや交通量等も含めて、私道の調査を行う予定である。直ちに専用道を設置するのは難しいかもしれないが、調査結果と併せて、時間帯による区分等を考えたい。 メンバー： 街中に少しずつ自転車専用道をつくっていくと、なかなか浸透しないのではないかと。 自転車の方が便利となれば、自然と自転車を利用するようになる。 車優先から人優先にシフトしていかなければ。 ②来年度予算について 事務局： 前回の円卓会議で検討してもらったが、現在、来年度の予算を申請しているところである。 前回、自転車まつりの話が出たので、そのイベントの費用や、講師の謝金、また、自転車市民共同利用システムの運用開始にあわせて、自転車マップをつくるという話があったので、その印刷製本費等を要求している。 メンバー： イベントを開催するといっても、それほど大きな予算はつかないのではないかと。 事務局： 今回のフェスタの経験も活かして、あまり大規模なものではなく、市民講座のような体験型のイベントにしたいと考えている。講師も、例えば、湯出小の子どもたちに模範演技を披露してもらおうといったことを考えている。 メンバー： 講師もできれば地元の人にしてもらった方がよい。一小の子ども自転車教室では、初野保育園の先生がモトクロスをされた。そのような人が地元にもいる。 3. その他 事務局： 次回の円卓会議は、システムの運用が開始され、その様子を見てからということかどうか。運用開始のイベントの日程が決まり次第連絡するので、ぜひ参加をお願いしたい。 また、実際に自分でも利用者カードを作成して、その感想を聞かせてもらいたい。 次回の円卓会議は、イベントに参加をしてもらい、また日程を調整して連絡する。
次 回	※ 次回の円卓会議の開催は、システムの運用状況を見て、事務局で日程を調整して連絡する。 ● 次回の円卓会議までのお願い ・自転車市民共同利用システムの運用開始イベントに参加する。(日程は決まり次第連絡します) ・実際に利用者カードに登録をして、自転車に乗ってみる。



